

麗澤会校友会につながる情報誌

REITAKU

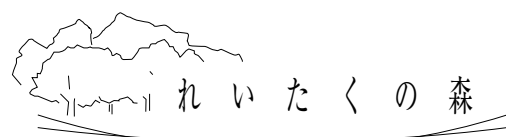
ALUMNI ASSOCIATION

2026.07

No. 159

テーマ
文理を超え
未来を拓く
5学部
の力





グローバルとローカルの課題に挑み、 未来を切り拓く人材へ

「品格あるグローバル人材」の育成を掲げて



麗澤大学学長 徳永 澄憲 (33 瑞)

麗澤会員の皆様には、日頃より本学の教育・研究活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、各分野においてご活躍されている皆様の存在が、今日の麗澤大学の発展を力強く支えてくださっていることに、深く感謝申し上げます。

現在、国際社会は気候変動や格差の拡大、紛争、急速なデジタル化など、複雑で困難な課題に直面しています。我が国においても、人口減少や少子高齢化により、地域社会の持続可能性が問われる時代となっています。こうした中で求められるのは、広い視野と実践力をもって課題解決に取り組む人材です。

本学では、この認識のもと、今年

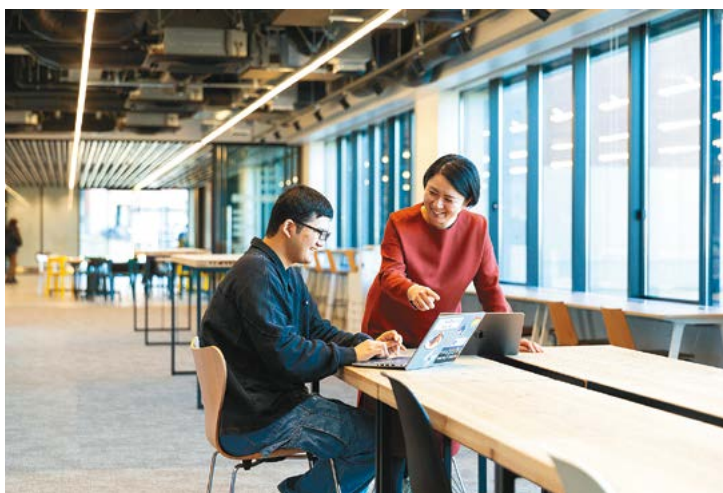
から始まる第3期中期計画において教育目標を「世界と地域の未来を切り拓く『品格あるグローバル人材』の育成」と定めました。世界と地域の課題に向き合い、それを自分事として捉え、主体的に行動できる人材の育成を目指しています。

その基盤にあるのは、「知識と道徳が車の両輪のごとく調和してこそ、真に社会の役に立つ」という「知徳一体」の理念です。知識や技能の習得にとどまらず、人としていかに生きるか、社会にどう貢献するかを問い続ける教育は、本学の大きな特色です。また、加えて、小規模教育のもと、教員と学生の距離が近い環境の中で、一人ひとりの挑戦や成長

に丁寧に取り添い、「やる気に火をつける」教育を実践しています。

2024年には、工学部と経営学部を新設し、5学部がワンキャンパスに集う体制が整いました。これは単なる学部の拡充ではなく、本学が「文理横断型教育」へ本格的に踏み出したことを意味しています。文系・理系の垣根を越えた学びにより、世界や地域、企業や産業などの課題に対して多角的に取り組む環境が整いつつあります。

経営学部では「100年先が、よろこぶ、ビジネスを。」を掲げ、道経一体の理念のもと、経営学と情報・データサイエンスを基盤に、起業家精神を備えた品格あるビジネス





パーソンの育成を進めています。一方、工学部では「テクノロジーに、愛を。」を標語に掲げ、チームと技術の融合によって社会課題の解決に挑み、変化の時代にしなやかに対応できるエンジニアの育成を進めています。

さらに、本学ではグローバルとローカルの双方を視野に入れた実践的な学びを重視しています。海外留学や国際交流に加え、地域と連携したプロジェクトや実習を通じて、学生は現実の社会課題に主体的に向き合っています。

毎年開催しているSDGsフォーラムや学生プレゼンテーション大会では、学生たちは環境問題や貧困、地域活性化などのテーマについて自ら調査・分析し、解決策を発信しています。こうした経験を通して、学生は社会課題を自分の言葉で語り、行動へとつなげる力を身につけています。

また、本学独自の全学基盤教育「麗澤スタンダード」では、「グローバル教育」「道德教育」「情報・データサイエンス教育」「キャリア教育」および「教養（リベラルアーツ）教

育」を柱に据え、複雑化する社会に対応できる「生涯学び続ける力」を養っています。

このような教育環境の中で、学生たちは着実に成長し、世界と地域の未来を担う存在へと歩みを進めています。

本学は、「知徳一体」「道経一体」の理念を礎に、小規模教育の強みとグローバル教育、そしてデータサイエンス・デジタル教育を融合させながら、学生一人ひとりに丁寧に向き合い、その可能性を最大限に引き出す教育をこれからも大切にしています。

新たに掲げた「品格あるグローバル人材」の育成のもと、学生一人ひとりが世界と地域の未来を切り拓く存在へと成長していくことを願い、社会に必要とされる人材を育て続ける大学として、未来社会の発展に寄与してまいります。

麗澤会員の皆様におかれましては、引き続き本学へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

麗澤校友会大同窓会 学園創立90周年

つむぐ。れいたく

—90周年の軌跡を、次なる物語の力に

「つむぐ。れいたく」をテーマに、学園創立90周年を祝うべく開催しました大同窓会。

会場に着くとすぐ、廣池千九郎先生、千英先生、千太郎先生の等身大パネルがお出迎えです。三大先生たちや再会した恩師、先輩後輩と写真撮影をし、皆さん笑顔でご来場。また、入り口前のホワイエには各校在校生による出展ブースもあり、卒業生と在校生の直接の交流の場となりました。

会場がデイズニールゾートのある千葉・舞浜だけに、廣池幹堂名誉会長、松浪進会長をはじめ、ご来賓にはキャラクターのカチューシャを身に付けていただき、麗澤幼稚園児のエスコートでパレードしながらに手を振りながらのご入場。国歌斉唱と黙祷、松浪会長の開会宣言、廣池名誉会長にご挨拶をいただき、始まりました。

その後、徳永澄憲学長、櫻井譲・柏校長、藤田知則・瑞浪校長より、各母校の近況報告の後、ステージイベント。卒業生の車いすテニス界のレジェンドこと国枝慎吾氏からのお祝辞や瑞浪卒のプロピアニスト・浅井一茂さん、瑞浪太鼓部OB OGによる「茉鼓」の演奏、幼稚園



チャリリーダーとのコラボステージに沸きました。恒例の大抽選会も大盛り上がり。賞品をご提供くださった皆様、誠にありがとうございました。

さらに今回は、廣池慶一学園常務理事より学園スローガン「想いが動く、未来がはじまる」の発表があり、100周年に向け在校生、卒業生、教職員、学園全体が心を一つに進んでいこうと、皆で心を新たにしました。最後は、幼稚園チャアたちと共に、全員でジャンボリミッキーを踊り、大盛況での閉会となりました。

本会は、数多くの麗大生がスタッフ参加してくださり、ご来場の皆様、ご協力の皆様のお陰で、在校生から卒業生、園児たちまで、オール麗澤で祝える90周年となり、次の100周年に向け、新たに想いを「つむぐ」スタートとなりました。ありがとうございました。

実行委員長 染谷菜摘（72高大）



学園創立90周年
つむぐ。麗澤

「誰かのために」という想いを、 社会を動かす「力」へ。

建学の精神「知徳一体」を軸に、日々新たな進化を遂げる麗澤大学。他者を思いやる心を、確かなテクノロジーと行動力へと昇華させ、今、大学は社会課題を解決する実装の場へと変革しています。伝統を次世代へつなぐ大学の現在地と、その最前線を切り拓く麗大生たちの軌跡をお届けします。



REITAKU UNIVERSITY TOPICS

5 学部の現在地：新しい「学び」の形

外国語学部 | デジタル時代を切り拓く、新しい「言葉の力」…… P. 7

国際学部 | 現場で育む「教える力」と、新設・総合安全保障プログラム…… P. 8

経済学部 | 金融・観光のプロから直接学ぶ「生きた経済」…… P. 9

経営学部 | 5 年一貫の税理士育成と、世界へ挑むビジネス力を育む「実学」…… P.10

工学部 | テクノロジーを社会課題解決の力に変える「課題解決型プロジェクト」…… P.11

社会を動かす麗澤のプロジェクト (PP.12 ~ 18)

SDGs フォーラム / 滋賀県高島市での取り組み /

石黒浩教授と考える「私たちの未来」 / 地域連携プロジェクト /

日本語教育共創ラボ (JaLEC) / 麗澤大学駅伝部 / ホームカミングデー

外国語学部 Faculty of Foreign Studies

令和の外国語学部では新しい学びの選択肢が次々と生まれています。

時代が求める「言葉の力」の現在地をご紹介します。

■ 2027 年 4 月始動！ 英語・デジタルコミュニケーションコース



Advanced Multimedia Studies

「英語を学ぶ」から「英語で動かす」実感。地域課題の解決策を学生自らが掘り起こし、英語の動画コンテンツとして企画・発信。デジタル時代の新しい学びを体現する授業です。

従来の英語コミュニケーション専攻に、デジタルスキルを掛け合わせた新コースが誕生します。短期の海外研修やインターンシップなど、デジタル×外国語の力を養います。

コースの 4 つの特長

自在なコース選択

2年次から、自分の将来像に合わせて学びをデザイン。

海外デジタル研修

最先端技術を「英語で学ぶ」短期海外研修を実施。

実践型インターン

国内外の企業現場で、習得したスキルを即実践。

プロによるトーク

第一線で活躍する先輩や企業から、キャリアのヒントを得る。

※本コースは英語コミュニケーション専攻の学生が対象です。

■ 2025 年度より韓国語・韓国文化プログラムが始動



「専攻する言語に加えて、さらなる強みを」。そんな学生たちの意欲に応え、新たなプログラムが動き出しました。



K-POP等の親しみやすい導入から、留学を含む本格的な学びまでを網羅。日本語との類似性を活かした指導や、学生同士で高め合う「ピア・ラーニング」により、「私にも話せた!」という自信を積み重ねます。所定の単位を修得した学生には、大学公式の「修了認定証」を発行。専門言語に韓国語を掛け合わせ、多角的な視点を持つグローバル人材を育成します。

国際学部 Faculty of Global Studies

学びの舞台は、キャンパスを飛び出して国内外の「現場」へ。
複雑化する国際社会の課題を自分のこととして捉え、具体的な解決策を導き出す実践力を育てています。

■ 日本語教育の新たな挑戦：現場で育む「教える力」

日本で暮らす外国人の増加等に伴う法改正を受け、本学部国際学科は文部科学省より、千葉県内ではわずか2校となる「登録日本語教員養成機関」等の認定を受けました。

2025年度から始まる課程を修了すると、新設された国家資格「登録日本語教員」の基礎試験が免除されるなど、資格取得への道が大きく開かれます。新しい制度にもいち早く対応し、現場で活躍できる質の高い人材を育てるため、次のような「生きた学び」を大切にしています。



日本語教育の主な取り組み

学習支援ボランティア

外国にルーツをもつ子どもたちへ日本語を教えるボランティア。

海外大学との交流

日本文化を伝える動画をつくり、海外の日本語学習者と生きた交流。

日本語教育実習

2年次生～4年次生を対象に、台湾や韓国の提携校での教育実習を実施。

地域でのインターンシップ

本学で日本語を学ぶ留学生が、千葉県内の高校で外国人相談員として活躍。

外国にルーツをもつ子どもたちを支える学生自主活動団体「子ども日本語支援すまいる」。小学校やオンラインでの日本語学習のサポート、日本文化の体験イベントなどを通じて、地域社会の教育の格差という課題に向き合っています

■ 2026 年度スタート！「総合安全保障プログラム」と研究センターの開設



紛争やサイバー攻撃、大きな災害など、世界の「安全」を脅かす問題はますます複雑になっています。こうした変化に対応するため、2026年度から全学部を対象とした「総合安全保障プログラム」が始まります。国際政治や経済、防災、情報などを幅広く学び、現代の安全保障を多角的に理解する力を身につけます。また、同時に「麗澤国際安全保障研究センター」も誕生。世界と日本の安全を考える新しい「知の拠点」として、研究と教育を一緒に進めていきます。

経済学部 Faculty of Economics

企業や行政との産官学連携協定によって、教室を飛び出して学ぶフィールドワークの機会が豊富。
お金の流れから社会の仕組みを読み解き、未来をデザインする「生きた経済」を学ぶ実践力を育てています。

■ 現場の最前線を知る：プロから直接学ぶ「生きた実学」

金融や観光の第一線で活躍してきた実務経験豊富な教員が多数在籍し、現場の生きた知識を直接吸収できる環境が整っています。将来のキャリアを見据えた資格取得のサポートも手厚く、学生一人ひとりの目標に寄り添った指導を行っています。



産学連携「ロックンベジタブル®」プロジェクト

規格外の野菜にロック音楽を聴かせて育て、新たな価値を届けるプロジェクト。経済学部の籠（かご）ゼミナールがノースエレメンツ社と連携し、イオンモール柏などでの販売イベントを行っています。持続可能な農業や食品ロス解決をビジネスの視点で捉え、社会に貢献する喜びを体感する、まさに「現場」での学びです

（※ロックンベジタブル®は登録商標または商標です）

現場のプロから学ぶ、3つの強み

金融・観光のプロによる直接指導

現場を知る教員から実務の勘所を学ぶ。

強力な公務員対策

資格試験予備校と提携し、学内で対策講座を開講。毎年多数の合格者を輩出。

資格取得をサポート

FP（ファイナンシャルプランナー）などの国家資格取得を後押し。

■ 全国の舞台へ挑戦！「日銀グランプリ」での躍進



日本銀行が主催する大学生対象のコンテスト「日銀グランプリ」に毎年出場しています。金融や経済の知識を現実の社会課題と結びつけ、チームで解決策を提言。専門ゼミのきめ細かなサポートのもと、全国100件以上の応募の中から、これまでに「株主優待のDX化」などのユニークな提案で決勝進出や入賞の実績を重ねてきました。この挑戦を通じ、データ分析力やプレゼンテーション力といった、社会で必要とされる確かな力を磨いています。

経営学部 Faculty of Business Administration

マネジメント、会計、データサイエンスを縦横に組み合わせ、新しい価値を生み出す力を実学を中心に養います。
ビジネスの最前線で、自由な発想をもって挑戦し続けるリーダーを育てています。

■ 5年一貫で税理士へ：大学院と手をつなぐ「税理士プログラム」

学部4年と大学院1年の計5年間で修士号を取得し、税理士試験の突破を目指す一貫プログラムを準備しています。経営学部の担当教員がコーディネーターとして、学生一人ひとりの相談に親身に応じる安心の環境。将来の目標に合わせ、会計や税務の専門知識を基礎から着実に積み上げ、難関試験突破という夢の実現を全力でバックアップします。

■ 2026年度本格始動！「グローバルビジネスプログラム」

経営学の専門知識を海外の大学で学ぶ、新しい留学プログラムです。オランダ、シンガポール、台湾、ドイツなどから留学先を選び、専門性と語学力を同時に磨きます。また、日々の学習ではオンラインの「DMM英会話」を必修とし、スピーキング力の強化にも力を入れています。

学生の声



金子 弥生さん（ビジネスデザイン専攻3年）

「自分のレベルに合わせて楽しく学べるので、英語が苦手だった私でも、自信を持ってコミュニケーションできるようになりました！」



「道の駅かぞわたらせ」での商品開発プロジェクト
資源リサイクル企業ウム・ヴェルト社と連携し、学生たちが「道の駅」の新商品企画から商品化までを実現。循環型ビジネスや地域活性化というリアルな経営課題に対し、自ら足を運んで解決策を形にする、経営学部ならではの実学のカタチです

実学志向を支えるサポート

教員と学生の距離が近く、進路や学びの悩みをいつでも相談できる、麗澤らしい温かな距離感も経営学部の大きな魅力です。学生の「興味」や「好き」を教員が「学び」という形にする体制が整っています



工学部 Faculty of Engineering

自然災害や空き家問題などの切実な社会課題をテクノロジーの力で解決するプロジェクト・研究を展開。
自らシステムやアプリを構築し、デザイン思考を軸に、
解決策を具体的に「実装」して社会へ届けるのが工学部の学びのスタイルです。

■ 技術を社会の力に変える：課題解決型プロジェクト (PBL)

工学部では、最新のAIやデータサイエンスのスキルを「誰かのためにどう使うか」を考え、実際に動く形にすることを目指しています。身近な悩みから広域な社会課題まで、学生たちが主役となって挑んでいます。

進行中の主なプロジェクト

1. AR × 農業で「梨農家」をアシスト (白井市連携)

高齢化が進む農作業の負担を減らすため、AIによる樹形の予測とAR（拡張現実）技術を組み合わせたシステムの研究・開発に取り組んでいます。剪定や収穫をサポートする近未来的な農業の形を提案しています。

データ解析で挑む「函館オーバーツーリズム対策」

観光地に設置したAIカメラで「いつ・どこが混むか」を予測。データをもとに人の流れをデザインし、地元の人も観光客も心地よく過ごせる「まちづくり」を、工学の力で支えています



2. AI カメラで「学食の混雑」を解消 (スマート食堂)

昼休みに混み合う大学の食堂にAIカメラを設置して人の流れを数値化。混雑状況を予測して学生に発信し、テクノロジーを使ってキャンパスライフを自らの手で便利に変えています。

3. 世代をつなぐ「AI 音声データ」の構築 (いちから Try2025)

AIに正しい日本語を認識させるため、麗澤幼稚園の園児や高齢者施設の方々と交流しながら音声データを収集。介護や保育を支える未来のAIづくりに貢献するこの試みは、アイデアソンでも優秀賞に輝きました。



「東京ゲームショウ」や「地域の文化祭」へ出展

世界最大級のゲームの祭典や、浦安市の中学校で行われた文化祭に参加。自分たちの作品をプロや地域の子どもたちに直接体験してもらい、生の声を聞くことで、社会とつながるエンジニアとしての視点を養っています



麗澤 SDGs フォーラム ～地球の宿題、学生がガチでやってみた～

麗澤大学が建学以来大切にしてきた「三方よし」「道経一体」の理念。それはまさに、SDGsが目指す「誰一人取り残さない社会」と重なります。キャンパスを飛び出し、世界規模の課題に自らの手で向き合う学生たちの熱い取り組みをご紹介します。

麗澤 SDGs フォーラム 2025

学内外の人々が共に考え、行動する場として7回目を迎えた本フォーラム。今回は本学卒業生である黒田成彦氏（前・長崎県平戸市長）による基調講演をはじめ、学生たちの熱のこもったプレゼンテーションコンテストが行われました。

また、学内を走るEV（電気自動車）のラッピングデザインコンテストの表彰式・除幕式や、多彩な出展ブースでの交流も実施され、SDGsを「自分事」として捉える活気に満ちた1日となりました。



世界を舞台にアクション！ 学生たちの国際活動

ネパールの衛生環境を改善「Be a bridge!」

現地の小学生に向けて、手洗いや清潔な生活習慣の大切さを伝える授業を実施。環境と衛生の啓発を中心とした活動を、海を越えて継続しています。



タイ北部の少数民族を支援「プアン」

現地の有機栽培コーヒーを取り寄せて大学祭で販売したり、学内で回収した古着を寄付したりと、学生ならではの多様なアプローチでタイ北部の少数民族をボランティア支援しています。

アフリカを学ぶ、アフリカから学ぶ「麗澤アフリカ研究会」

国際学部の自主企画ゼミから誕生。国際会議「TICAD9」の公式サイドイベントに出展し、貧困をテーマとした発表やスーダン産ピサップ茶の販売、絵本の読み聞かせなどを実施。その取り組みが評価され、大学後援会の学生表彰を受賞しました。



140年の記憶を刻む廃校に、もう一度、笑顔を 滋賀県高島市での取り組み

1886年に開校し、2016年に閉校した滋賀県高島市の旧広瀬小学校。この歴史ある学び舎を「地域に開かれた学びと交流の場」として再生させる有志学生の挑戦は、2025年7月に結ばれた高島市との包括連携協定という大きな実りへとつながりました。

地域の魅力を鳴らした「ひろせフル 4th」—— 総勢 200 名が交流

2025年10月25日(土)、第4回となる廃校再生イベント「カラフル・パワフル・ひろせフル 4th つくろう！高島のことばとリズム♪ ～かるた、おどり、ライブで“高島”を鳴らそう♪」を開催。

(共催：モラロジー道德教育財団、後援：高島市、高島市教育委員会、麗澤校友会、麗澤大学麗澤会)



地元住民の方々を中心に総勢約200名が参加。高島ならではの言葉を紡いだかるた作りや、地域のリズムに合わせた踊り、音楽ライブを通して、校舎には再び賑やかな笑い声が響き渡りました。今後、地域とのさらなる協働と活動の発展が期待されています。なお第5回は、2026年11月28日(土)に開催予定です。



学生の声

ひろせフルとの出会い

小林 麻生さん（国際交流・国際協力専攻2年）

通信制高校を卒業し大学に進学した私は、新しい環境で大きな壁に直面しました。一人暮らしの生活や友達づくりに不安を抱え、「大学に居場所はない。もう辞めたい」と考える毎日。それでも学びを手放す決心はつかず、秋学期を迎えた頃、ひろせフルと出会いました。

実際に高島市を訪れ、現地の皆さんと関わる中で得た安心感、メンバーと3日間を共に過ごしイベントをやり遂げた達成感から「ここが私の居場所だ」と強く感じました。温かく迎えてくださった地域の方々への恩返しと、この団体に自分の力を尽くしたいと思っています。

時間はかかりましたが、大学の中に自分の居場所を見つけることができました。今も学びを続けられているのは、ひろせフルとの出会いがあったからです。関わってくださるすべての皆さまへの感謝を込めて、卒業まで全力で貢献していきます。

50年後の未来へ。世界的なロボット研究者と、故郷で語り合う。 石黒教授とともに考える「私たちの未来」

世界的なロボット研究者であり、本学の特別招聘教授でもある石黒浩教授。その故郷・滋賀県高島市を舞台に、テクノロジーと「人間らしさ」、そして地域の未来を多角的に捉え直す対話型イベントを開催します。次代を担う高校生や大学生とともに、50年先の社会のあり方を描く特別なひとときをお届けします。麗澤大学の各学部から学生が選抜され、各学部の観点からテーマについて考えます。文理融合の総合大学に進化した麗澤大学の真価が発揮されます。

開催概要

いのちの未来、地域の未来を紡ぐ 90 分

本学と高島市の包括連携協定、そして廣池学園・モラロジー道德教育財団の節目となる年を記念し、産官学が手をつなぐ象徴的なプロジェクトが始動します。

日時：2026年7月20日（月・祝）13：30～15：00

会場：高島市民会館（滋賀県高島市今津町中沼1-3-1）

共催：高島市・高島市教育委員会・麗澤大学・モラロジー道德教育財団

後援：麗澤大学麗澤会

プログラム

【第1部】石黒浩教授 講演「いのちの未来」

先端科学の視点から、私たちがこれからどう生きていくのかを問い直す。

【第2部】学生プレゼンテーション

「50年後の地域未来」

地元の高島高校・安曇川高校、そして麗澤高校・麗澤大学の学生たちが、自由な発想で未来の姿を提案。

【第3部】高大連携パネルトーク

石黒教授、今城克啓高島市長、若者たちが登壇。高島の自然や文化を土台に、未来をともに語り合う。

本イベントの詳細、
お申し込みはこちらから！



石黒浩教授とともに考える
私たちの未来
50年後の未来は、「どこか」で始まる。ここから始まる。

高島市と麗澤大学の包括連携協定の締結を記念し、高島市出身で世界的に活躍するロボット研究者 石黒浩教授が登壇する対話型イベントを開催します。石黒教授は大阪大学大学院基礎工学研究科教授で、大阪・関西万博シグネチャー「ビリオン」の「いのちの未来」をプロデュースされました。「人間らしさ」や「テクノロジー」、「地域の未来」をテーマに、高島市をモデルとしながら、これからの社会について一緒に考えてみませんか？

日時 2026年 7月20日 月・祝
13:30 - 15:00 12:00 受付開始、12:30 開場
会場 高島市民会館（滋賀県高島市今津町中沼1-3-1）
定員 650人（先着順）
申込期間 6月1日（月）～7月10日（金）
申込方法 イベントサイトに掲載の「申込フォーム」または、裏面のFAX専用用紙でお申し込みください。
会場では、対話型ロボットの展示・体験も実施予定です。ご家族・お子様連れでもお気軽にご参加ください。

参加費 無料

共催：高島市・高島市教育委員会・麗澤大学・モラロジー道德教育財団
後援：麗澤大学麗澤会
協賛：「私たちの未来」実行委員会
お問い合わせ：イベントサイト内の専用フォームでお問い合わせください。

石黒教授が提唱する、ロボティクスを通して人間の本质に迫る視点は、本学が推進する「人と社会とテクノロジーをつなぐ学び」そのもの

柏から全国へ。地域を動かす「最初の一步」。 地域連携プロジェクト

実社会の課題解決に挑むPBL（課題解決型学習）。大学生活における主体的な学びの「最初の一步」として、地元・柏市から全国の市町村まで、さまざまな地域連携プロジェクトの輪が広がっています。

社会と向き合う実践の場「麗澤・地域連携ゼミナール」

2019年度よりスタートしたPBL「麗澤・地域連携ゼミナール」。26年度からは全学部の1・2年次生対象となりました。柏市・企業・団体の協力を得て、地方自治体や企業・団体が抱える課題に対し、学生がチームで解決策を考え、提案します。



日本各地で街づくりを実践「地域創生プロジェクト」

キャンパスを飛び出し、連携協定を結んだ全国の市町村とともに「街づくり」や「地域創生」を現地で実践しています。茨城県潮来市では、市に建てる複合文化施設の活用プランを学生が直接提案。ほかにも、北海道天塩町、新潟県妙高市、沖縄県石垣市など、気候も文化も異なる日本各地の課題に深く入り込んで活動しています。2026年10月末には「地域連携シンポジウム」の開催も控えており、学びと社会のつながりはますます深まっています。



地域の方々へ向けた成果発表（地域連携ゼミナール）

調査と分析の集大成として、連携先の企業や自治体の方々へ自らのアイデアをプレゼンテーション。社会人からのリアルなフィードバックをもらうことで、座学では得られない大きな自信と手応えを得られます



茨城県（潮来市）



北海道（天塩町）

全国の連携自治体へ赴く（地域創生プロジェクト）

茨城県（潮来市）や北海道（天塩町）、新潟県（妙高市）、沖縄県（石垣市）など、全国各地の現場へ。時には地域フォーラムの運営スタッフも務めるなど、地元の方々との温かい交流を通して、その土地の魅力や課題を肌で感じながら持続可能な街づくりに貢献しています



新潟県（妙高市）



沖縄県（石垣市）

共生社会のコトバを広げる、新しい「共創」の場 日本語教育共創ラボ(JaLEC)の挑戦

在留外国人の増加や法改正など、日本語教育はいま、大きな転換期を迎えています。本学が築いてきた日本語教育の伝統を次世代へつなぎ、学内外の多様な人々が手を取り合って新しい社会をデザインする。そんな共創プラットフォーム「JaLEC（ジャレック）」が、2026年4月に誕生しました。

JaLEC

伝統を力に、明日を拓く：これまでの歩みとこれから

2024年に施行された「日本語教育機関認定法」などの新しい制度にいち早く対応し、2025年5月31日には「日本語の明日を考える」と題したシンポジウムを開催しました。また、シンポジウム内の議論をまとめた書籍『日本語教育はどう変わる？－「日本語の明日を考える」シンポジウム録－』も発刊（くろしお出版）。

国際学部が文部科学省の認定を受けた「日本語教員養成機関」として歩み出すなか（本号・国際学部のページ参照）、JaLECはこの動きをさらに加速させます。教育・研究・社会連携をひとつに結び、理論と実践を往還しながら、多文化共生社会のリーダーとなる即戦力人材を送り出していきます。



設立記念 JaLEC Forum 2026 を開催

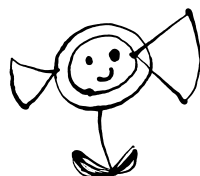
JaLECの設立を記念し、シンポジウムを開催。多くの方々に参加をいただきました。

日 時：2026年5月30日（土）

テーマ：日本語教育の実践と理論をつなぐ ～共創拠点の役割とは～

教育・地域・行政など多様な立場の参加者が集い、日本語教育の実践と理論をつなぐ新たな可能性について議論しました。基調講演や実践報告、現場との対話を通して、多文化共生社会を支える日本語教育の未来と、JaLECが果たす役割を共有する機会となりました。

多様なコトバが響き合い、誰もが自分らしく暮らせる未来へ。JaLECは、日本語教育の新しいスタンダードをここ柏の地から発信していきます。



「ALL 麗澤」で箱根路へ。新戦力で挑む！ 麗澤大学駅伝部、本戦出場へ新たな挑戦

箱根駅伝本戦出場という悲願へ向けて、麗澤大学駅伝部が大きく動き出しました。2026年度は、経験豊富な新コーチ陣を迎え、さらに長距離走の聖地・ケニアから新たな留学生が合流。池谷寛之監督からの力強いメッセージとともに、新たな風が吹き込むチームの「今」をお届けします。

監督メッセージ

麗澤大学駅伝部は、箱根駅伝本戦出場という目標に向け、2026年度も新たな体制で歩みを進めております。本年度は、高い指導実績を持つ実業団チーム元監督の越井武吉コーチ、選手・コーチとして実績を持つジェームス・ムワンギコーチが加わり、指導体制を強化いたしました。また、意欲ある新入生も入部し、チームには新たな競争と活気が生まれています。

さらに、強化の柱として、新たにケニア人留学生が加入いたしました。受け入れにあたっては、廣池常務とともにケニア現地を訪問し、現地レースや練習環境を視察したうえで本人と直接面接を行い、競技力に加え、麗澤大学の理念を理解し、チームの一員として成長していく意欲を確認しました。

また3月には、瑞浪高校の選手たちを大学駅伝部合宿所に迎え、高大連携の一環として合同合宿を実施いたしました。大学生と高校生が競技を通じて交流を深める貴重な機会となりました。

新スタッフ、新入生、新留学生を迎えた駅伝部は、「ALL 麗澤」の思いを胸に、箱根駅伝本戦出場という目標に向かって、日々の練習と生活に真摯に取り組んでまいります。校友会会員の皆さまには、今後とも温かいご支援とご声援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

麗澤大学駅伝部監督 いけがや ひろゆき
池谷 寛之



長距離走の聖地、ケニア・イテンでのスカウト活動

標高2,400mの高原にあるケニア・イテンを廣池常務と池谷監督が訪問。現地の熱気あるトライアルレースを視察し、直接面接を通して、チームの理念を共有できる新戦力を発掘



左から

ジェームス・ムワンギ（麗澤大学駅伝部コーチ）
越井 武吉（麗澤大学駅伝部コーチ）
池谷 寛之（麗澤大学駅伝部監督）
廣池 慶一（麗澤大学駅伝部 担当常務理事）
小林 宏明（麗澤大学駅伝部部長・法人事務局長）
平野 和芳（麗澤大学駅伝部副部長・大学事務局長）



決意も新たにスタート

麗澤大学ホームカミングデイ 2025

JUMP！ 同窓会のプラットフォームをめざして

令和7年6月21日（土）、在学生・卒業生・教職員が集まる「ホームカミングデー2025」は約310名の方にお越しいただき、大盛況で幕を下ろすことができました。

今回のコンセプトは「同窓会のプラットホーム」。できたばかりの校舎「さつき」を舞台に、集まって充実した時間を過ごしていただくとうと企画しました。前々回のHOP、前回のSTEPを経て、今回は廣池学園創立90周年を祝した大規模開催へ「JUMP」したものでした。

当日は90周年記念セレモニーのほか、学生による体験展示や工学部のVRコーナー、世代を超えた限定復活ライブなどで盛り上がりました。また、陸上部応援企画では、招待期の卒業生と現役部員、さらに本学客員教授で長

崎県平戸市長を務めた黒田成彦様（42期）も加わっての応援歌演奏という共演が実現。特別な時間となりました。

参加した卒業生からは「母校のすばらしさを改めて実感できた」



「現役学生の学習成果を体験できたことが良かった」など、温かいコメントが寄せられました。

今回はいいよ夢見ていたJUMPの年。大規模開催という事で、「多くの人に来ていただくこと」を目標にしてみました。その中で、卒業生が「次は俺たち私たちの番だ」と積極的に同窓会を企画する声を聞き、学生や教職員、そして卒業生の皆様の支えなしには開催できなかったと、感謝の気持ちでいっぱいです。

2024の前回よりも多くの参加があり、私自身、お世話になった方々に

会える特別な時間となりました。ホームカミングデイが、大切なあの人ともう一度会えるきっかけになってくれれば嬉しいです。学生がつくる新生ホームカミングデイとして、後輩が頑張ってくれることを期待して、結び



の言葉とさせていただけます。

当日でご来場くださった皆様、準備でお手伝いいただいた教職員の皆様、一生懸命企画・運営を共にしたプロジェクトメンバー、本当にありがとうございました。

（ホームカミングデイ副代表・国際学部4年／高安美京）

※本年は6月20日（土）に開催いたしました



麗澤大学監修

＜多言語対訳＞

心のカレンダー

大人になった今だから、心に響く麗澤の教えがある。

かつて教室で、寮で、共に学んだあの格言が、

今、鮮やかによみがえる。

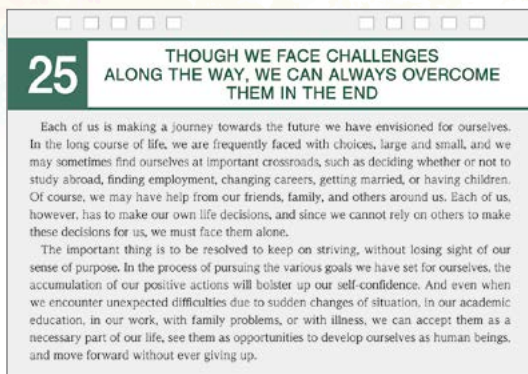
日々向き合うデスクやリビングに、

母校の息吹を感じられる「心の指針」を、もう一度。

卓上用・31日分

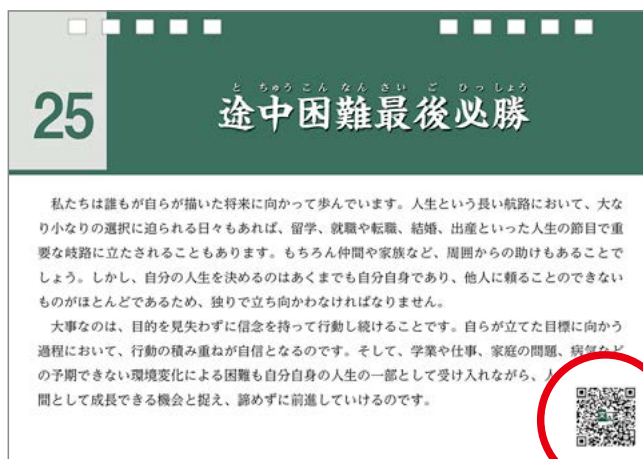
本体サイズ：155mm×180mm

定価 990円(税込)



※解説文は令和5年6月に刊行した『大学生のための心のカレンダー』と同一の内容です

ロングセラー『心のカレンダー』を、現代を生きる私たちの生活に寄り添う解説へとリニューアル。令和の時代にこそ指針としたい31の格言を、麗澤大学の中核を担う「道徳科学」の科目を担当する教員が編集しました。確かな英訳・解説を全ページに収録。専用webサイトからは中国語繁体字訳もお読みいただけます。



QRコードから中国語繁体字訳がお読みいただけます

玄関やデスクに置いて
心の道しるべに

離れて暮らすお子様や
大切なお知り合い
への贈り物に

ご注文・お問い合わせ先

公益財団法人

モロロジー道徳教育財団 出版部

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL 04-7173-3155

FAX 04-7173-3324

詳しくは
こちら

オンラインショップ

ニューモラルブックストア

検索



受け継がれる伝統と、最先端の学び 生徒の未来を開く 麗澤中高の取り組み

探究ゼミが始まりました

2025年10月より高校1年生の「総合的な探究の時間」の新プログラムとして「探究ゼミ」が始まりました。

このプログラムでは、専門性あふれるゼミを16テーマ開講。主体的・協働的な学習プログラムにより、生徒一人ひとりの「興味・関心」に応えた創造的な活動やより深い探究的な活動を可



廣池千九郎記念館の見学

能としています。1年間のプログラムであり、高校2年生の後半からは個別の探究のフォローアップができる環境を整えています。

加えて、麗澤だからこそ学ぶことができる道徳の授業を開講しています。初回の授業では、学園内にある廣池千九郎記念館を訪れ、廣池千九郎博士の生涯や業績を学び、墓参をさせていただきました。生徒たちは、改めて学祖の志を学び、自身の生活を見つめ直

すきつけとなりました。

また、このプログラムは、未来を担う若者の育成を目指す教育機関等への助成、およびその成果を広く社会に波及させるための事業を行う一般財団法人三菱みらい育成財団より、助成校として採択されており、現在千葉県私立高校の中で唯一採択されている学校となります。

今後も探究学習を通じて生徒の思考力・表現力・協働力を育み、より豊かな学びの場を提供してまいります。ぜひ今後の展開にご期待ください。

麗澤のインターナショナルタイムでクリスマス会開催

麗澤高校の寮では、高校1年生を対象に、グローバル社会で活躍するために英語を活用する意識とスキルを向上させることを目的として、月2回のインターナショナルタイムを実施しています。

インターナショナルタイムでは、毎回、外部講師と麗澤大学外国語学部的大学生がスタッフとなり、英会話や



ディベートなど、英語をアウトプットする機会を多く設けています。

2学期最後となる12月12日は、留学生5名と共にクリスマスパーティーを行いました。男女各寮の生徒が英語でクイズや劇の出し物を披露したり、ビンゴ大会を行ったりして、大いに盛り上がりました。その中で生徒たちは留学生と積極的にコミュニケーションをとり、楽しんでいました。

これからも寮生活を通してコミュニケーション能力を育んでいきたいと思っています。

新設の「アントレプレナーシップコース」が始動！

未来を創る学びに全国から入学者急増のわけ

2026年度の高校入学者数が157名に達し、前年度比で1.4倍と急増しました。特筆すべきは、全入学者のうち約4割が岐阜県外からの進学者である点です。この背景には、本年4月に新設された「アントレプレナーシップコース」と、「寮教育」に対する大きな期待があります。



多様な背景を持つ仲間との出会いが、学びと成長につながる

前年比1.4倍
新たな学びに集まる期待

少子化が進む中、生徒は地域を越えて、教育内容や学びの環境によって学校を選ぶ時代になりました。

定員割れが続く学校が多い中、本校

アントレプレナーシップとは？

は中高ともに好調です。高校の入学者は昨年度の112名から45名増え、募集定員110名を大きく上回る157名となりました。中学校の入学者も64名（前年度比1.2倍）と増加しています。また、高校入学予定者のうち70名が寮生として新たな生活をスタートさせました。

新しい学びの環境を求めて名古屋圏を中心とした都市部から本校を選択する生徒は確実に増加。そこには、日常生活そのものを学びの場とする「寮生活」への関心の高まり、さらに本年4月にスタートした「アントレプレナーシップコース」への期待の高まりを感じます。

アントレプレナーシップとは一般的に「起業家精神」と訳されます。「起

業家」と聞くと、特別な能力を持つ一部の人にのみ関係することのように感じられるかもしれません。しかし、現代はAI技術の発展などによって社会が急激に変化する時代です。そのような時代には、「自ら未来を考え、他者と協働しながら新たな一歩を踏み出す力」、つまり、起業家的な資質が、すべての人に求められます。

本校ではアントレプレナーシップを、「自分や周りの人々がやりたいと願う未来を、主体的に創り出せる力」と定義しています。

本コースでは、「知りたい」という内発的な学びを原点到に、自分自身を深く理解しながら、自己、他者、社会をより良くするために小さな一歩を踏み出そうとする資質を身につけることを目指しています。安心・安全なコンフォートゾーンに留まるのではなく、少しドキドキするラーニングゾーンへ踏み出し、挑戦や対話、失敗を通じて



得た経験を、自分自身の力へと変えていきます。

コースの主な特徴は次の通りです。
・コース生全員が生活するアントレプレナーシップ寮（以下アントレ寮）制度

・卒業に必須の単位以外の20単位以上を自らデザインできる教育課程
・探究活動に集中できる年間20日までの「探究公欠制度」

・系列校である麗澤大学をはじめとする
高大連携教育

・3年間で100人以上の大人との出
会いを創出

多様な人々との出会いや対話、日々
の経験を通じて、生徒たちは自分自身
への理解を深めることができます。

「100人との出会い」始まる 初回はMIXー役員が登壇

4月にはコース一期生が入寮し、新
たな学校生活が始まりました。海外で
の生活経験を持つ生徒も在籍してお
り、多様な価値観に触れ、試行錯誤を
繰り返しながらの共同生活が始まって
います。



また、本コースでは、多様な人との
出会いや対話を重視しています。

その取り組みの一つが、「3年間で
100人以上の社会人との出会いを創
出するプロジェクト（通称「100プ
ロ」）」です。

『100プロ』
では、多彩なゲ
ストとの対話を
通じて、その人
ならではの人生
観や価値観に触
れ、生徒たちが
「生き方のモデ
ル」と出会う機
会を創出してい
ます。

選りたくなる学び舎へ

『100プロ』の記念すべき第1回
のセッションは4月14日に開催され、
株式会社MIXー取締役・上級執行
役員の村瀬龍馬氏を講師としてお迎え
しました。アントレ寮で約2時間にわ
たり行われた対話の中で、生徒たちは
村瀬氏の経験や考え方だけでなく、そ
の生き方そのものに触れる時間を過
しました。

書籍やインターネットだけでは得ら
れない「生き方」との出会いが、生徒
たちの世界を少しずつ広げています。

アントレ寮での日常的な対話や多様



アントレプレナーシップコース長

松本兼太郎先生

『論語』には、「学びて時に之を習う。亦説ばしから
ずや」とあります。ここでいう「説び」とは「学んだこ
とを繰り返し実践し、成長を実感することで得られる、
心の内側から満たされるような充足感」というような意
味です。

アントレプレナーシップコースの目指す姿も、実践を
通じた充足感を原動力に、生徒が自ら学び続ける「理論

と実践の往還」です。そしてこの形は、本校が長らく大
切にしてきた「道徳とは実行の学問である」という精神
にも深く関係します。

「世界を変える」とは、必ずしも大発見、大改革だけ
を指すわけではありません。自分自身に見える景色が変
わることで、その変化が他者への働きかけとなり、誰かの
見える景色を変えることもまた、「世界を変えた」と言
えることではないでしょうか。

アントレプレナーシップは、長年、本校が大切にしてき
た精神を、現代的な文脈で解釈したものとも言えます。今
後のコース生の活躍にも、ぜひ、ご注目ください。



な生き方との出会いを通じて、1期生
たちは少しずつ自分自身や社会の可能
性を広げ始めています。

麗澤瑞浪のよき伝統を受け継ぎなが
らの挑戦はまだ始まったばかりです。
多様な価値観に触れながら、生徒たち
は他者と、そして自分自身と向き合っ
ています。

日々の共同生活や対話の中で、自分
の「知りたい」や「得意」に気づき、
小さな挑戦へ踏み出
す姿も少しずつ生ま
れてきました。

これからも、生徒
一人ひとりが安心
して挑戦し、多様な
他者との出会いを通
じて学び続けられる
場を育んでまいりま
す。

お問い合わせ：
麗澤瑞浪中学・高等学校 入試広報課
TEL: 0572-66-3173
FAX: 0572-66-3100
Email: mz-koho@mz.reitaku-u.ac.jp

5年目を迎えた通信制課程
生徒たちが自らつくる充実した学校生活

通信制課程はおかげさまで開設5年目を迎えました。本校が掲げる5つの特長（①道德教育 ②進学実績×個性最適化 ③麗澤大学との連携 ④環境 ⑤多彩な行事）も、少しずつ浸透しつつあるように感じております。

今後も「知徳一体の教育」を根底に据え、「全日制に近い通信制高校」という他校にはない特色を生かしながら、魅力ある学校として発展していけるよう努めてまいります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和7年度進路報告

開設以来、初めて定員を満たした学年として、生徒一人ひとりが自身の進路選択へ真剣に向き合ってくれました。その結果、約7割の生徒が4年制大学・短大へ進学（全国の通信制高校

谷川—湯沢—軽井沢修学旅行

の4年制大学・短大の進学率は約3割）。初の国公立大、海外大学への合格者も出ました。他の進路を選択した生徒も含め、次なるステージでの活躍を心よりお祈りしています。

通信制では、2・3年次生を対象とした修学旅行を実施しています。令和7年度は廣池千九郎谷川記念館の偲徳寮を宿泊場所とした2泊3日の行程に40名が参加しました。

初日は谷川記念館で、若林浩司館長より創立者と谷川温泉の関わりについて講話をいただきました。創立者が温泉療養を続けながら研究執筆活動を行っていた建物は、令和7年、国の登録有形文化財に指定されました。訪問時は補修工事中でしたが、在りし日の様子



はうかがい知ることができました。

2日目はみなかみ町にある「たぐみの里」を訪れ、キャンドル作製や紙すき等の体験活動を行いました。昼食は近隣のフルーツ農園でバーベキューとぶどう狩りを行い、全員がお腹一杯になりました。3日目は長野県軽井沢町で自由散策を行い、食事やシヨッピングを心ゆくまで楽しみました。



麗澤杯スポーツ大会

令和8年2月18日、本校体育館にて毎年恒例のスポーツ大会を開催。教員全員と生徒を合わせて総勢60名が赤組・白組に分かれ、熱戦を繰り広げました。

玉入れは担任がカゴを背負ってコート内を移動し、そのカゴをめがけて玉を投げ入れるというスタイルで実施。

しい笑顔があちこちで見受けられ、お土産も思い出も一杯の充実した修学旅行となりました。特に創立者が残してくれた温泉の素晴らしさに皆が感動していたのが印象的でした。

生徒たちは逃げる先生を笑顔で追いかける、会場は大きな歓声に包まれました。

最後のリレー競技では、全員が懸命に走ったすきをつなぎました。

総合優勝は
赤組となり、

R7 主な大学入試結果

※（ ）内は既卒生の内数

国公立大学

島根大1、埼玉県立大1、沖縄県立芸術大1

私立大学

麗澤大 10(2)、東京理大 2(1)、立教大 3、明治大 1、法政大 1、武蔵大 1、芝浦工大 1、東洋大 6、日本大 4、専修大 1、京都産業大 1、文教大 1、順天堂大 1、東邦大 2、国際医療福祉大 1、東京農大 2、東京工科大 7 など

海外大学

Knox College(アメリカ)

麗澤大学 進学8名

経営学部経営学科ビジネスデザイン専攻（2）

経営学部経営学科AⅠ・ビジネス専攻(2)

経済学部経済学科経済専攻（2）

外国語学部外国語学科中国語・アジアグローバル専攻（1）

国際学部国際学科日本学・国際コミュニケーション専攻（1）



最も活躍した3年次生には、同窓会組織である「れいこう麗澤会」より特別賞が贈られました。賞品は、創立者の格言集やモラロジ―道徳教育財団のキャラクター「もらんちゃん」の缶バッジなど、本校にゆかりのあるものが選ばれました。

第4期生61名が卒業

令和8年3月14日、令和7年度卒業証書授与式を執り行いました。担任からの呼名に卒業生全員が力強く応え、晴れやかな表情で卒業証書を受け取る姿は、3年間の学びの集大成を感じさせるものでした。

櫻井讓校長の式辞では、「予測困難な社会を生きる皆さんの指針として、『心のカレンダー』を事あるごとに読み返してほしい」「人生は選択の連続です。迷ったときは通信制課程の校舎を訪ね、先生方に相談してください」とのメッセージが送られました。続く祝辞では、廣池幹堂理事長より「明確な目標を持

ち、まずは身近な人に恩返しをしながら、世の中になくてはならない人物になってほしい」という力強いお言葉をいただきました。

卒業生代表の挨拶では、日々の学習や友人との交流を通して成長できた喜びが語られました。生徒会発足時、ゼ口から形にしていくなかに直面しながらも、試行錯誤を重ね、仲間と共に多くを学んだことが述べられました。さらに、本校で培った「感謝の心」「思いやりの心」「自立の心」、そして「三方よし」の精神を胸に、社会で活躍していきたいという決意が語られました。

最後に述べられた教職員への感謝、そして支えてくれた家族への感謝の言葉は、会場全体を温かな気持ちで包み込みました。

第7期生43名が入学

令和8年4月10日、入学式を執り行いました。廣池千九郎記念講堂に新入生全員が集い、担任からの呼名にも晴れやかに応えていました。

祝辞は櫻井校長の「緊張や不安が錯綜する中、新たな生活をスタートさせる皆さんの気持ちを受け止めます」という言葉に始まり、廣池理事長からは



「大混乱期を生きる志をしつかりと持ち、親孝行をし、祖先や自然に感謝し、社会にとつてなくてはならない存在となってほしい。日本と世界の歴史を学び、困った時に目標にできる人を見つけてほしい。そして皆さんには、麗澤の新たな歴史を築いてほしいと願っています」といった熱いメッセージが送られました。

最後に在校生を代表し、3年生の生徒会役員より歓迎の言葉が送られました。その中では2年前の自身の入学式前日の日記が紹介され、入学時点で後ろ向きだった気持ちが学校生活を送る中で前向きになり、友人ができ、友人と出かけ、生徒会に入り「この人たちと一緒に変わることができるかもしれない」という気持ちが芽生えたことと、新入生にも変わる勇気を持ち、変わろうとする人を応援してほしいという願いが語られました。

生徒会が発足

生徒の自主性を育み、自立した学校生活を送るための組織として生徒会活動がスタートしています。「学校を良くしたい」「生徒のために働きたい」という強い意志を持って立候補した14名が、毎週定例会議を行いながら予算管理や行事の企画・運営などを主体的に担っています。

生徒会が企画・実施したイベントも複数あります。「生徒会メンバー自身も、校内の生徒も、学校も、それぞれが笑顔になる『三方よし』の精神を



生徒会が企画した「初夏祭」

大切にしながら日々活躍しています。他者のために行動できる生徒が一人でも多く育つことを願っています。

麗澤各母校 令和8年度 執行部

麗澤大学

学 長



徳永 澄憲 (33瑞)

副 学 長



渡邊 信



唐木 重典



柴崎 亮介



黒須 里美
(43高大)



廣池 慶一
(64瑞大)

事務局長

平野 和芳
(46大)

麗澤中学・高等学校

校 長



櫻井 譲

教 頭



西野 徹
(49高)



古川 圭介
(52高)



山本 崇之
(53高)

事務部長

中山 理恵 (57高)

麗澤瑞浪中学・高等学校

校 長



藤田 知則 (58高)

校長補佐



渡邊 康雄
(45高)

教 頭



高橋 周作
(54高)



松本 兼太郎
(58高)

事務部部长

川瀬 達也 (55瑞大)

麗澤幼稚園

園 長



竹政 幸雄 (32高大)

事 務 長

服部 恵理子 (61高)

一般社団法人麗澤校友会 令和8年度役員

名誉会長 顧問 相談役	廣池 幹堂 (32 高) 宮嶋 邦彦 (15 高短) 松岡 省一 (30 高大)	山本 幾雄 (23 高)	小野 剛 (24 高)
代表理事・会長	 松浪 進 (32 高)	代表理事・副会長	 黒須 里美 (43 高大) (麗澤大学麗澤会会長兼務)
専務理事 理事・副会長 理事	上平 光孝 (35 高) 松浦 貞雄 (56 高大) (麗澤大学麗澤会副会長兼務) 田中 敏滋 (31 高) 徳永 陽子 (42 高大) 原田 晋一 (46 瑞) 橋富 英仁 (50 高) 小林 靖 (57 瑞) 西山のりこ (60 瑞大院) 風澤 寛修 (59 高大・れいこう麗澤会会長) 栗原 克之 (51 高) 米田 隆彦 (52 大) 福田 千恵 (63 高)	酒井 伊幸 (41 高大) 木津 孝道 (43 高) 平山 秀樹 (48 高) 佐坂 浩二 (50 高) 平原 由樹 (57 大) 風澤 俊之 (60 高大)	飛世 寛文 (41 高大) 森光 孝雅 (45 高) 菅沼 譲 (49 高大) 伊藤 敏大 (54 瑞・みずこう麗澤会会長) 富田 裕之 (58 大) 長谷 享治 (61 瑞大) 廣池 慶一 (64 瑞大) 松野 大祐 (69 大)
監事 事務局長 事務局			

麗澤大学麗澤会

会長	黒須 里美 (43 高大)
副会長	松浦 貞雄 (56 高大)
事務局長	松野 大祐 (69 大)

れいこう麗澤会

会長	 風澤 寛修 (59 高大)
副会長 事務局長	永治 真樹 (46 高) 中山 理恵 (57 高) 佐坂 浩二 (50 高)

みずこう麗澤会

会長	 伊藤 敏大 (54 瑞)
副会長 事務局長	位田 耕一 (43 瑞) 長谷 享治 (61 瑞大) 宮田 祐嗣 (66 瑞) 加藤 昇一 (64 瑞)



岡田恭彦麗澤校友会前会長様には令和8年3月21日に79歳にて逝去されました。なお、葬儀につきましては故人の遺志により家族葬にて執り行われました。

岡田様は麗澤高校(28期)をご卒業後に東京大学に進まれ、富士通に就職されました。取締役・経営執行常務を歴任されたほか、グループ会社の株式会社富士通ラーニングメディアの代表取締役社長も務められました。

麗澤校友会では平成23年に会長に就任され、麗澤会ロゴマーク制定、大阪天満宮船渡御参加、学園創立80周年記念麗澤会全国大会 in USJ、麗澤の絆・心の禪りレー、全国同時開催すき焼き大会、次世代リーダー育成プログラムなど、麗澤会の活性充実に積極的に取り組まれました。平成29年には任意団体であった麗澤会を、同窓会組織としての性格を明確にし、運営ならびに会計を機動的かつ明確にすることを目標に「一般社団法人麗澤校友会」に衣替えをし、会長を松浪進氏に交代しました。以後、今日まで顧問として温かいアドバイスをいただけてきました。生前中に賜りましたご指導に心より感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

麗澤校友会次世代応援ご協賛のお願い

令和7年10月1日付で一部改定しました

麗澤校友会では全国5万人の会員の絆を強めるべく、次世代会員がこの会報でも紹介されていますように様々なイベントに取り組んでいます。

そこでこの次世代の活動を応援するための次世代応援協賛金を以下の要領で募集します。協賛金額は、プラチナ、ゴールド、グリーンからお選びいただけます。ご協賛いただいた方には校友会会報にご芳名、または会社名を掲載させていただきます。

つきましては、経済情勢の厳しい折、心苦しい限りではございますが、何卒、麗澤校友会の次世代事業にご賛同いただき、特段のご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ご不明な点やご質問などございましたら、「お問い合わせ先」の麗澤校友会本部事務局までお尋ねください。どうぞよろしくお願いいたします。

1 協賛金額

プラチナ	一口	100,000 円	プラチナプラス	二口以上	200,000 円以上
ゴールド	一口	10,000 円	ゴールドプラス	二口以上	20,000 円以上
グリーン	一口	1,000 円	グリーンプラス	二口以上	2,000 円以上

2 申し込み方法

ご面倒ですが右記QRコードを読み取っていただき、申込フォームに必要事項をご記入の上、下記口座にご送金をお願いいたします。

三菱UFJ銀行 松戸西口支店 (店番274) 普通 0043029
名義 一般社団法人麗澤校友会 シヤ) レイタクコウユウカイ



※誠に恐れ入りますが、金額にかかわらず振込手数料はご負担願います。

※領収書は入金確認後に発行し郵送いたします。

※一般社団法人ですので、税制優遇の対象とはなりませんことをご了解ください。

3 募集期間

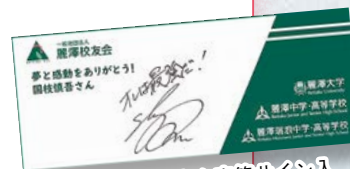
期限なし

4 特典

- ① 全員に麗澤校友会ピンバッジ贈呈
- ② 5万円以上：ご希望により「名刺広告」を会報に順次掲載
- ③ グリーンプラス：「麗澤校友会ロゴ入りタオル」贈呈
- ④ ゴールド：「麗澤校友会と各母校ロゴ入りタオル」贈呈
- ⑤ ゴールドプラス：「国枝慎吾さん直筆サイン入りタオル」贈呈
- ⑥ プラチナ以上：「麗澤校友会ロゴ入りカレンダー・温度湿度計機能付き電波時計」贈呈
- ⑦ プラチナプラス：下記により麗澤校友会会報（毎年7月発行）に記事広告掲載
 1. 20万円以上：記事1/2ページ
 2. 30万円以上：記事1ページ
 3. 50万円以上：記事2ページ



④「麗澤校友会と各母校ロゴ入りタオル」



⑤「国枝慎吾さん直筆サイン入りタオル」

お問い合わせ先

一般社団法人麗澤校友会本部事務局

[TEL] 04-7173-3205 [FAX] 04-7173-3146 [メールアドレス] reitakukai@ad.reitaku-u.ac.jp

麗澤校友会は全国に支部があります。

地元にお住まいの方も、転勤等で引っ越された方も是非ご連絡ください！

地元の支部ともつながっていただき、母校と期別を超えて親睦を深めましょう。

支部名	支部長名	期別	メールアドレス	電話番号	携帯番号
北海道	田中 敏滋	31 高	tanaka@sapporo-law.com	011-281-1441	
青森県	若井 隆志	34 大	twakai@actv.ne.jp	017-743-1262	
岩手県	市瀬 均	56 高	htichise0308@outlook.jp		090-8780-8327
宮城県	渡辺 浩吉	36・37 高大		022-231-5947	
秋田県	小笠原まり子	48 高	korima0530@yahoo.co.jp	0184-24-2601	
山形県	佐藤 豊	33 高	yyh@ma.catvy.ne.jp	023-654-6451	
福島県	先崎 温容	56 大	qqcp3zbb9@miracle.ocn.ne.jp	0247-78-1278	
茨城県	若林洋二郎	43 高		029-875-6078	080-3588-6423
栃木県	秋本 薫	43 高			
群馬県	上原 克文	47 大	katsufumiuehara@yahoo.co.jp		
埼玉県	酒井 伊章	43・44 高大	yoshiaki.sakai@mail.penta-ocean.co.jp		090-2537-0760
千葉県	染谷 菜摘	72 高大			080-6517-4377
東京都	酒井 伊幸	41 高大	yoshiyoshi3535@yahoo.co.jp		070-6672-5287
神奈川県	浅野 峰之	43 高			
新潟県	横山 英晴	42 高	tyujyo-yoko@nct9.ne.jp	0258-66-5050	
富山県	役川 喜博	42 高大		076-465-6838	
石川県	山口 茂一	38・39 高大	moichi@po2.nsknet.or.jp	076-298-7511	
福井県	中島 福則	41 瑞	nakaban@beetle.ocn.ne.jp	0770-52-0825	
山梨県	依田 昇一	37 瑞	kaneyo@nns.ne.jp	055-233-5671	
長野県	村田 昌隆	38 高	shoryu.mura2@gmail.com	026-244-6716	
岐阜県	長谷 愛子	34 高	love-french.@docomo.ne.jp	058-392-3741	
静岡県	山本 雄一	53 瑞	yy11@mvd.biglobe.ne.jp		
愛知県	近藤 喜嗣	40 高	ykond1214@outlook.jp		
三重県	西尾 信重	41 高	kaki-chaki.nishioen@topaz.plala.or.jp		
滋賀県	藤居 昌幹	42 瑞	msffujii@n-wood.jp	0749-65-2237	
京都府	樋口真一郎	62 瑞	shiguchi0901@gmail.com	0774-22-1332	080-3712-9272
大阪府	飛世 寛文	41 高大	tobise@kutsuwa.co.jp		090-2194-1150
兵庫県	大上 磯松	36 高大	mkkr08300@maia.eonet.ne.jp	079-597-2020	
奈良県	原田 晋一	46 瑞	sharada@kcn.jp		
和歌山県	山添 順裕	45 瑞	yoshihiro@yamazoe-print.co.jp	073-471-1911	
鳥取県	雑賀 正光	31 高大	ganju.saiga2@gmail.com		090-8715-8841
島根県	中村 寿男	36 瑞大	marujyu@nippon-tea.co.jp	0852-24-0001	
岡山県	山本 達	41 高	telaffy3109@nifty.com	086-422-2480	
広島県	湯本 雅博	38 瑞	yumoto_0120@outlook.jp	084-954-3478	070-5050-3478
山口県	山下 温子	36 瑞	nagako@xd6.so-net.ne.jp		090-7591-7338
徳島県	阿部 修	35 高			
香川県	宮本 雅由	36 高	masa-miya11@helen.ocn.ne.jp		090-8993-0254
愛媛県	徳永 陽子	42 高大	yokotoku1612@gmail.com		090-4788-7594
高知県					
九州	村田 雅洋	41 瑞	amurata52@gmail.com		090-8413-9051
沖縄県	和久 茂樹	46 高	waku888shigeki@gmail.com		090-9784-2171

愛知県支部



4月27日に名古屋駅前の神戸館で「第31回あいち麗澤会の集い」を開催しました。瑞浪から

神田・藤原・峰田の各先生にお越しいただき、大学、柏・瑞浪中高

の卒業生と在学生に加えて、新入生9名とご家族を招待し、54名が麗澤の絆を新たに、さらに強めることができました。

大阪府支部



い出話に盛り上がりしました。

6月27日に大阪市内のモラッキー末広にて19名が出席して総会と懇親会を開催しました。20

期から64期まで、年代と母校を超えた思

愛媛県支部



した。懇親会では先生のユーモアたっぷりのお話を拝聴し、和やかに交流しました。

7月26日、今治市のはな亭で総会と懇親会を開催し、瑞浪から

深澤了先生をお招きし、20

代から80代まで22名が楽しい時間を持つ

ことができました。

群馬県支部



8月31日、本部から米田隆彦事務局長をお招きして、総会と懇親会を15名の出席のもとで開催しました。米田氏から麗澤の近況についてご紹介

いただきました、懇親会では麗澤の思い出話で大いに盛り上がり、あつという間にお開きの時間となりました。

北海道支部



5月10日に札幌市内の北海道モラロジィ会館にて、本部から小野剛顧問、松浪進会長、上平光孝専



5月24日に津市のアストプラザ4階会議室で総会を、続いてホテルグリーンパーク津

ル・パールで懇親会を開催しました。瑞

浪から渡邊康雄校長補佐を

お招きして瑞浪の現状などを講演いただき、校友会本部の米田

隆彦事務局長より麗澤会活動のご報告をいただきました。また

地元出身の片岡章也瑞浪教諭にもご出席いただきました。19名

の会員、4名のご家族、合計26名が親しく懇談することができました。

神奈川県麗澤会



7月5日にエスカル横浜会議室で総会と生田泰宏氏をお招きしての講話を行い、16名が出席しました。引き続き19名が参加して中国郷土料理の錦里で懇親会を行い、22期から59期の年代を超えた有意義な交流ができました。

静岡県支部



8月23日、コロナ禍以来となる久しぶりの総会と懇親会を炉囲土（ロイド）静岡アスティ店で開催しました。13名が出席し、村越勉さんから山本雄一さんへの支部長交代が承認され、懇

山口県支部

8月31日、カリエンテ山口で総会を開催しました。本部からお招きした上平専務理事から、校友会全体の活動状況、母



校の様子、在校生の活躍等をお話しいただき、専務理事の先輩や後輩、教え子の参加者も多く、皆喜んで聞いていました。懇親会では、懐かしい麗澤に関するワードを使ったビンゴ大会を開催し、自己紹介と共にそのワードにまつわる思い出を語り、大いに盛り上がりました。

奈良県支部



10月26日、総会を開催しました。奈良県から母校へ入学する生徒が減少している中、母校の魅力を伝え、一人でも多く入学してもらえるように何かできないかと話し合い、瑞浪の渡邊校長補佐からは麗澤瑞浪中学・高等学校

新潟県支部



校の紹介をいただき、現在取り組まれているSNSの活用事例を参加者一同興味深くお聞きしました。また、参加者の近況報告と在校時の話題に大いに盛り上がりました。総会終了後、皆様と食事をしながら交友を深めました。

11月16日、燕三条駅近くのぜんてい燕三条店にて総会と懇親会を20名で開催。初参加の方々もすぐに打ち解けて大変賑やかで楽しい総会でした。話をしているうちに思いがけない縁でつながっていたり、懐かしい話に花を咲かせたり、あっという間に時間が過ぎました。最後に皆で恒例の「暁鐘」の合唱で締めくくりました。総会後、グループラインで情報交換する人もいて、今後の活発な活動や会員同士の交流にもつながればと思います。

栃木県支部



11月30日に総会を開催しました。大学から黒須里美副学長、麗澤大学麗澤会学生部の高安美京さんをお迎えし、現在の麗澤の状況を紹介いただきました。母校の発展に12名の参加者一同、とても喜び、懇親会も盛会の内に終了しました。

福井県支部



12月6日、本部から上平専務理事をお招きして、プラザ萬象で14名が出席して総会を開催しました。引き続き、ダイニングしおそうで16名が懇親会に参加し、麗澤

会員の絆を強めることが出来ました。

東京都支部・埼玉県支部



令和8年2月28日、迎賓館赤坂離宮と和風別館の游心亭の見学と総会を東京都支部、埼玉県支部共催で開催しまし

た。見学には20名が参加し、歴史と格式に触れました。その後、曙橋駅前にある山本龍太郎氏（55瑞大）経営の「餃子PAIRON」で19名が参加しての総会を開催。総会後は絶品の餃子をいただきながら、懇親を深めました。

麗澤の水のお知らせ



大分県玖珠郡の清水をボトルリングしました。

290mlで124円(税込み)です。

販売場所は「キャンパスストア さくら」、お問い合わせ「れいたくサービス」(04-7171-2300 代表受付)までお願いします。



お便り・住所変更

(2025年7月から
2026年3月到着分)

お便り

若月 皎 (24高)

健康管理のために四つんばい
になって部屋の中でも庭でも
歩くとても良いですよ。

養島 賢蔵 (56大)

少子高齢化で住宅業界は縮小
する中、お陰様で弊社は業容
拡大中。「仁を尽くす」の社
訓の下、ある意味モラロジ
的な顧客対応を徹底している
ことが好調の理由です。長野
県各地に営業拠点があるの
で、住宅業界希望者だけでな
く、長野県の人や文化に興
味がある学生さんにも一度話
を聞いてみて欲しい。私も他
県出身でもう20年超長野県に
居ます。

加藤 優輝 (78大)

〒277-0061 千葉県
柏市東中新宿1-23-71
麗大JIC専攻を2019
年に卒業後、民間企業で教
育・児童福祉の分野に携わっ
た後(計4年程)、2023
年に千葉県庁に入庁し、柏児

住所変更

青柳 次建 (28高)

〒910-0006 福井県
福井市中央1-5-1 レー
ベン福井中央604

山崎 拓治 (34大)

〒206-0812 東京都

稲城市矢野口1541 アー
バンシャトル501号

今田 博之 (38高)

〒614-8296 京都府
八幡市欽明台東5-1 フア
インガーデンスクエアD-
1504

栗村 正之 (40高)

〒993-0001 山形県
長井市ままの上6-23 Y&
Mフェリカ302

井上 久美子 (44高)

〒120-0046 東京都
足立区小台1-22-2 尾久
橋スカイハイツ1121号室

石川 明 (44瑞)

〒444-0822 愛知県
岡崎市若松東2-2-3

中尾 あゆみ (45高大)

〒222-0032 神奈川県
県横浜市港北区大豆戸町
190 ニックハイム菊名
306

大森 勇 (47瑞)

〒135-0061 東京都
江東区豊洲3-4-1 シ
ティタワーズ豊洲ザ・ツイン
S-4606

笠原 章男 (51高)

〒981-0963 宮城県
仙台市青葉区あけぼの町8-
21 コーポラック101

堀口 実 (55高)

〒225-0014 神奈川県

県横浜市青葉区荏田西2-
15-9 ブリリア青葉荏田
611

政信 一輝 (59高)

〒305-0033 茨城県

つくば市東新井24-15 小田
部マンション306

田中 大介 (59高)

〒278-0043 千葉県
野田市清水382-10

「麗澤校友会大同窓会学園創立90周年」

「廣池学園創立90周年」「次世代応援」

「麗澤校友会協力」「母校協力」「箱根駅伝」の

ご協賛をいただいた方々(敬称略)

令和7年4月1日から令和8年3月31日までに協力金なら
びに寄付金をいただきました。篤く御礼申し上げます。

麗澤校友会大同窓会学園
創立90周年(11月9日開
催)協賛金

株式会社長正社
代表取締役社長

増田 光辰 (46高)

長谷虎紡績株式会社
代表取締役社長

長谷 享治 (61瑞大)

※「」は連名で協賛をいた

いた方です(以下同)。

岡田 恭彦(28高)、塚谷 仁志
(30高大)、藤川 潤(31瑞)、
竹政 幸雄(32高)、田中 聖則
(32高)、風澤 正夫(32高)、
三浦 順治(33高)、石田 徳
太郎(36高)、榊井 秋子(39
瑞)、近藤 喜嗣(40高)、酒井
伊幸(41高大)、安武 智佐(42
高)、澤田 栄造(43高大)、田
口建設株式会社 代表取締役 田
口 英樹(43高)、株式会社旭
ハウジング 代表取締役 林 章
浩(44瑞大)、岩田 尚見(45
高)、植芝 紀夫(46高)、株式
会社長正社 代表取締役社長
増田 光辰(46高)、鈴木 規子

(46高)、遠藤道子(47高)、松田康博(47高)、菅沼謙(49高大)、田中俊弘(49高大)、杉慎一郎(53瑞)、株式会社フーサワ代表取締役風澤俊之(60高大)、「長谷虎紡績株式会社代表取締役社長長谷享治(61瑞大)・長谷愛子(34高)」、杉悠香(88瑞)

廣池学園創立90周年協力費

菅沼謙一(18高)、森川正大(20高短)、藤本勝司(21高)、山本幾雄(23高)、古川定邑(25高大)、武藤五十鈴(25高)、森田政見(30瑞)、河田純治(36高)、松本卓三(36高)、中田啓子(36瑞)、加藤尚久(38高)、秋庭宏次(40高)、西尾信重(41高大)、加藤靖代(42高)、熊田仲宏(43高)、横田純代(43高)、植芝紀夫(46高)、吉田伊佐見(47瑞)、石原啓二(49瑞大)、藤本昌幸(49瑞)、杉慎一郎(53瑞)、大谷祥寛(57瑞大)、富田裕之(58大)、根本オリエ(61大)、杉悠香(88瑞)

麗澤校友会次世代応援協賛

山本幾雄(23高)、木津孝道(43高)

麗澤校友会協力金

Hastings ミナ子(13短)、豊川温美(16高)、水谷則幸(17高短)、有吉正年(20高短)、五百城啓太郎(20高)、高岡忠臣(20高)、森一馬(20高)、岡田智子(21高)、篠田静江(21高)、横田義信(21高大)、山田俊夫(21高)、吉田豊子(21高)、有阪敏(22大)、桑島良磨(22大)、武藤成生(22高)、森川百合子(22高)、山岡慶次(22高)、横田武子(22高)、杉山博子(23高)、中根拓代(23高)、新田賢治(23高)、野口佐智子(23高)、細川菁子(23高)、山本幾雄(23高)、鈴木一朗(24大)、田中宏子(24大)、谷澤淳子(24大)、三谷川颯子(24大)、有阪ひで(24高大)、田中新二郎(24高大)、牛田道雄(24高)、加藤栄一郎(24高)、早川実(24高)、山田等(24高)、麗高24期一同、相川修治(25高大)、

淡島成高(25高大)、讃井たつ子(25高大)、古川定邑(25高大)、相川敦子(25高)、成瀬恭子(25高)、光恒志津子(25高)、宮本美恵子(25高)、森雅子(25高)、池辺祐三子(26高)、武藤梅子(26高)、大谷誠之(27大)、上野克行(27高大)、町田芳子(27高)、奥本章夫(27瑞)、國枝邦洋(27瑞)、永安幸子(30高)、三村守(30高大)、匿名(31高)、藤田和広(31瑞)、赤穴新一(34高)、熊屋久典(35瑞)、村楨文江(35高大)、高橋正道(35高)、吉田たきの(36高大)、戸松新一朗(36瑞)、麗大37期一同、下條英子(37高大)、渡辺美喜子(37高)、黒田敬(37瑞)、杉生協士(37瑞)、炭崎真理子(37瑞)、刀川昇二(37瑞)、川島則夫(38高大)、星裕典(38高)、山口茂一(38高39大)、松本百代(41高)、稲垣雅恵(42高)、篠田仁太郎(45高)、森川博子(47高)、根本郁美(68大)

母校協力費

菅沼謙一(18高)、中島敬三郎(20高短)、藤本勝司(21

高)、桑島良磨(22大)、黒梅吉英(23高大)、増山瑠美(24高)、讃井たつ子(25高大)、中島邦子(28高)、伊藤正彦(28瑞)、山田喬伸(29瑞)、山口嘉洋(30高)、立松昇一(30高大)、立松みどり(30瑞)、中西保夫(30瑞)、森田政見(30瑞)、関哲夫(31瑞)、佐藤睦子(33高)、伊藤茂樹(33瑞)、門脇本一(33瑞)、辻川吉経(33瑞)、若林由健(33瑞)、高橋正道(35高)、河田純治(36高)、中田啓子(36瑞)、松本卓三(36高)、黒田敬(37瑞)、杉生協士(37瑞)、高木治代(37瑞)、加藤尚久(38高)、国広郁子(38高)、三浦育子(38高)、池田香(38瑞大)、吉岡芙美恵(38瑞)、秋庭宏次(40高)、松本百代(41高)、猪飼孝男(41瑞)、雲丹亀裕蔵(41瑞)、中村順子(41瑞)、藤本佳美(41瑞)、加藤靖代(42高)、横田純代(43高)、田中寿郎(43瑞)、松本佐代子(44瑞)、森光孝雅(45高)、井上和世(46高)、越沢美弥子(46高)、國重美津子(48瑞)、服部直子(48瑞)、石原啓二(49瑞大)、中井真尚(49瑞)、服部光雄(49瑞)、藤本昌幸(49瑞)、戸田恭敬(51

瑞)、青山万千子(53瑞)、杉慎一郎(53瑞)、成田篤美(55高)、岡広美(55瑞57大)、井部直子(57大)、大谷祥寛(57瑞大)、橋本貴子(58瑞)、根本オリエ(61大)、大藪奉寛(74瑞)、森誠嗣(79瑞)、石崎俊輝(80瑞)、杉悠香(88瑞)

箱根駅伝(麗大駅伝部)

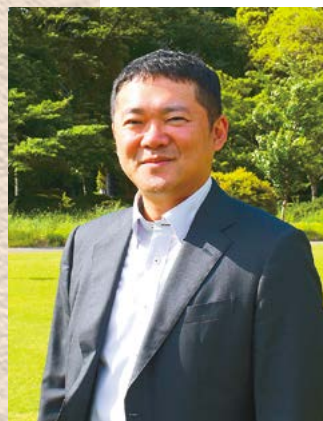
菅沼謙一(18高)、桑島良磨(22大)、関哲夫(31瑞)、三谷泰子(32大)、佐藤睦子(33高)、門脇本一(33瑞)、松本卓三(36高)、中田啓子(36瑞)、古津恵子(37大)、永森久隆(37大)、池田香(38瑞大)、加藤尚久(38高)、秋庭宏次(40高)、松本百代(41高)、猪飼孝男(41瑞)、雲丹亀裕蔵(41瑞)、中村順子(41瑞)、加藤靖代(42高)、飯田秀志(42瑞)、横田純代(43高)、石原啓二(49瑞大)、藤本昌幸(49瑞)、山本ルリ子(50大)、杉慎一郎(53瑞)、井部直子(57大)、大谷祥寛(57瑞大)、根本オリエ(61大)、前田教博(68大)、杉悠香(88瑞)

麗澤の絆を、力に。次世代を育む「麗澤ギフト」のご案内

麗澤の学び舎で共に過ごされた卒業生の皆様へ、心よりご挨拶申し上げます。日頃より本学園の教育・研究活動に温かいご理解とご支援、ご協力をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで麗澤各校は、少子化という厳しい時代にあっても安定した生徒募集を維持し、定員を満たす状況が続いております。これは、卒業生の皆様をはじめ、多くの方々に支えていただいているからこそと、あらためて感謝申し上げます。また、A-の進展など社会が大きく変化する今だからこそ、人としての在り方や道徳を大切に

する麗澤教育の価値は、ますます高まっていると感じております。



日々の学びや挑戦に真摯に向き合っています。皆様の歩みを受け継ぐ後輩たちが、それぞれの夢に向かって努力する姿に、これからも温かいご声援をお寄せいただけましたら幸いです。

こうした在学生たちを支える取り組みの一つとして、返礼品付き寄付金「麗澤ギフト」をご案内いたします。「麗澤ギフト」は、卒業生企業によるさまざまな魅力ある商品を取り扱っており、ご寄付を通じてそれらをお受け取りいただける仕組みです。母校への応援とともに、各分野で活躍されている卒業生の取り組みに触れていただけるのも、この企画の魅力の一つです。

皆様からのご支援は、奨学金の充実や教育環境の整備、国際交流の推進などに活かされ、在学生の成長を支える大きな力となります。「麗澤で学んだ者が次の世代を応援する」——その温かなつ

ながりが、学園の未来をつくっていきます。

2035年に迎える学校法人創立100周年に向けては、麗澤ブランドの確立や記念事業の展開など、さまざまな取り組みを進めてまいります。この節目を、ぜひ卒業生の皆様と一緒に盛り上げていければと願っております。

どうか「麗澤ギフト」を通じて、母校への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのお気持ち、後輩たちの挑戦を支え、未来へとつながっていきます。

結びに、卒業生の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げますとともに、母校・麗澤への変わらぬご厚情、そして後輩たちへの温かい応援を、今後ともよろしく願い申し上げます。

返礼品付き寄付金
プロジェクトリーダー

廣池慶一（64 瑞大）

麗澤各校の情報を
まとめて配信します！
これからの麗澤を
応援しましょう！！



詳しくは
こちら!!

「麗澤ギフト」
公式ページ

[note]

LINE公式アカウント
「麗澤ギフト」



こちらをご覧ください

お問い合わせ

廣池学園募金事務局

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1
E-mail: mlbokin@ad.reitaku-u.ac.jp

“共に学び、共に育つ” 麗澤の国際協力！



一般財団法人 麗澤海外開発協会
〈RODA〉

“幸せとは何だろう”——スタディツアーに参加した高校生から最も聞かれた言葉です。

麗澤海外開発協会（RODA＝Reitaku Overseas Development Association）の事業の一つにタイ・スタディツアーがあります。スタディツアーでは、RODAが長年支援するタイ北部チェンライにある児童養護施設メーコック財団に滞在し、子ども達との交流やボランティア活動をしています。またバンコクのスラム地域にて教育支援活動を展開するJILAF（国際労働財団）の活動を視察しています。昨年12月にも麗澤高校生15名が9日間このスタディツアーに参加しました。



北部タイで有名なワット・ロンクンにて



メーコック財団で寮生活を送る子ども達は、貧困や暴力、親のドラッグ依存や麻薬関連の犯罪による服役など、様々な背景を抱えています。スタディツアーに参加した生徒達はそんな子ども達が笑顔で遊んだり、初めて訪れる自分達を温かく受け入れてくれることに大きな衝撃を受けたようです。教育支援を受けているとはいえ、裸足で壊れた玩具で無邪気に遊ぶ子ども達を見て、その笑顔の裏側に思いを寄せる生徒、子ども達の強さを感じる生徒、自分が当たり前だと思っていた世界や価値観が揺さぶられたという生徒。彼らの感想文は子ども達との交流なしでは感じるこののどきなかったたくさんの気づきにあふれていました。

バンコクのスラム地域の一つであるオンヌット貧困地区では、多くのミャンマー移民がバンコク中から集まるゴミを分別して賃金を稼ぎ暮らしています。学校に行けず、親を手伝い一緒に働く子ども達もいます。世界で最も経済格差が激しいと言われるバンコクでこのような社会課題に直面するとともに、生徒たちはそこで暮らす人々や子ども達との触れ合いを通して、異文化や価値観の違いを肌で感じ、そこに生きる人々について考え、自分を取り巻く環境が当たり前ではないことの気づきを得ました。

最後に生徒の感想の一文を紹介します。「この研修を通して、私は“支援する側”“助けられる側”という一方的な関係ではなく、互いに学び合い、影響を受け合う関係性の大切さを学んだ」。RODAの50年にわたる活動の真意が生徒にも伝わってくれているようです。国際協力というフィールドでの体験が、視野を広げ、新たな視点をもって次の未来への探求につながっていくことを願っています。



メーコックの子ども達と
涙の別れ



メーコック財団にて洪水対策のボランティア活動

RODA公式Instagram

ツアーの様子をまとめた動画を公開しています。「roda_kaiyo」で検索、または右記のQRコードから訪問先や交流の様子、生徒の驚き&感動を共感ください！



一般財団法人 麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL：04-7173-3165

3母校オープンキャンパス

麗澤大学

自分の目で見て、聞いて、麗澤を体験してみよう!!

オープンキャンパス

2026年夏のオープンキャンパスは、
教員や大学生たちとの触れあいをメインに実施。

緑あふれる広大なキャンパスで、
学生スタッフや先生たちと直接話して、
進学のヒントをつかんでください!



開催日 7月19日(土)・26日(土)、8月2日(土)・16日(土)、23日(土)

※無料駐車場あり、保護者の方も一緒にご参加いただけます
※7月26日、8月2日、16日のみ午後回有の2部制

主なプログラム 大学・入試説明、キャンパスツアー、学部紹介ブース、学部説明会など

※要申し込み。開催日の約1か月前より麗澤大学ウェブサイトよりお申し込みいただけます。

今後の状況によりプログラムの変更や開催中止の可能性がございます。

麗澤大学ウェブサイトで随時お知らせいたしますのでご確認のうえ、お申し込みください。

同日に
ワークショップも
実施!



麗澤中高

サマーチャレンジ寮体験2026

参加者募集

この夏、麗澤高校では毎年恒例の「サマーチャレンジ寮体験」を実施します。集団生活で養われる「感謝・思いやり・自立」の3つの心と熱い友情。寮体験では麗澤高校生(寮生)が皆さんをサポートして、実際の寮生活を送ります。もちろん、高校の授業も体験できます。中学生の皆さんの参加をお待ちしています。



開催日 8月22日(土)~23日(日) 1泊2日

対象 中学2・3年生(男女各15人)

申込締切 8月16日(日)

参加費 4,000円(食事代、レンタル布団代、保険代等)

問い合わせ先 入試広報チーム寮担当
(本校ウェブサイトの申し込みフォームからお申し込みください)

☎ 04-7173-3700(学校代表)



麗澤瑞浪

ボーディングスクールスタイル(全寮制)を体験!
未来の選択肢を広げよう!

アントレコース体験

麗澤瑞浪高等学校では、2026年4月に開設されたアントレプレナーシップコースを体験できる「アントレコース体験」を開催します。1泊2日で1期生との交流やアントレプレナーシップコースの授業、3年間かけて100人以上の大人との出会いを創出するプロジェクト(通称:100プロ)などを体験していただけます。ぜひご参加ください!



開催日 9月20日(土)~21日(日)・祝 1泊2日

対象 中学3年生

申込締切 9月6日(日)まで

参加費 10,000円

問い合わせ先 入試広報課(本校ウェブサイトよりお申し込みください)

☎ 0572-66-3140 ☑ mz-koho@mz.reitaku-u.ac.jp

特設サイトは
こちらから

